

文字の色について

赤文字：単語の意味の説明

青文字：児童に促したいポイント(児童への支援の視点や発展的な内容)

緑文字：ミニ知識(補足)

【過去の火災のミニ知識】

毎年約600件の火事が発生している。さらに、2023年には733件の火災が発生し、前年より94件増加した。

※参照：横浜市「月別火災発生件数（平成12年から令和4年）」

火事のことを知ろう

● 火事はどれくらい起きているの？

横浜市では毎年、約600件くらいの火事が起きているんだ。自分の身を守るように、そして火事を起こさないようにするため、みんなで火事のことを勉強してみよう！

■ 横浜市で起きた火事の件数

2022年	639
2021年	698
2020年	624



● 火事で一番危険なものは？

火事で一番危険なものは煙なんだ。火事の時に出る煙は、危険なガスを含んでいて、これを吸うと、頭が痛くなったり、意識がなくなってしまうんだ。煙はまわりの空気よりも軽くなるため、上へ上へと、1秒間に3メートルから5メートルの速さで上がっていくよ。

火事が起きたら？〈その①〉

● 避難の方法は？

煙は天井に集まるよ。煙の高さにより、姿勢を変えて、ハンカチやタオルで口と鼻をおおい、少しでも煙を吸わないようにしよう。



● エレベーターは使わず、階段で逃げよう。

● 火や煙で階段が使えなくなり、2階などから避難できないときは、ベランダなどで身を低くして、火や煙を避け、助けを待とう。



● 119番通報をしよう

火事や急病の人を見つけたときは、すぐに119番通報をしよう。周りの人に早く知らせることも大切だよ。

119番通報の仕方

- ・ 正しく119番する
- ・ 「火事」か「救急」かを伝える
- ・ 住所（区名・町名・番地）と名前、電話番号を伝える
- ・ 電話に出た人が「わかりました」というまで電話は切らない
- ・ 携帯電話で119番通報を行うときは、必ず「横浜市」とつけて住所を伝える
- ・ 場所がわからない場合は、目標を伝える

【煙の説明】

②火事では一番怖いのは煙である。煙には危険なガスを含み、吸い込んで意識がなくなって逃げられなくなることもある。

※参照：横浜市消防局予防部予防課～家事や災害から身を守る方法

火事について～2 火事で1番危険なもの

【煙からの避難のミニ知識】

⑥ 避難時にタオルやハンカチで口や鼻を覆うことで、煙粒子や刺激性のガスを吸い込むことを低減すると同時に吸気温度を下げ、生理的な負担の軽減が期待できる。しかし、有毒ガスの除去は期待できない。

※参照：消防庁消防研究センター「平成26年3月3日 タオルやハンカチ等の除煙効果に係る実験」

【煙の習性のミニ豆知識】

1. 熱せられて空気より軽くなり上昇する
2. 天井まで上昇すると横に広がる
3. 煙の量が増えたと下に広がり、水平に広がる

※参照：兵庫県三木市「煙の知識を身につけよう」

【避難の方法の説明】

⑤ 姿勢を低くし、煙の下の空気層で息は止めずに少しずつ浅めの呼吸をしながら避難。息を止めて途中で我慢できなくなると、一呼吸で大量の空気（煙）を吸い込んで倒れることがある。また、避難時はタオル、服等で口と鼻を覆う。

※参照：京都市消防局「火災から命を守る避難のパンフレット」

【児童考察】

①火災避難する時にはおはしもを意識するとよい。語呂の良い単語だと児童も覚えやすい。

- お：押さない
- は：走らない
- し：しゃべらない
- も：戻らない

※参照：東京消防庁「第9章 避難」～
2 火災時の避難のポイント～（4）避難の約束と誘導灯

「走らない」、「しゃべらない」は煙を吸わないという点でも大切。